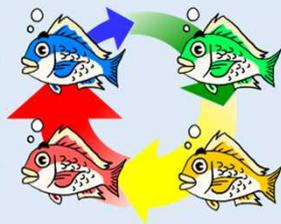
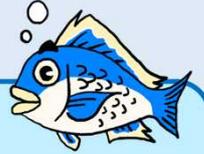


探究 BEFORE → AFTER



中学校第2学年 数学 平行と合同

① 「課題の設定」のポイント



単元や節を貫く課題を設定させたい

「星形五角形の角の和の求め方を説明する」という、単元（内容のまとめ）の最後に解決する課題を提示することで、目的意識を持って学習に取り組めるようにする。

BEFORE：本時の学習内容を一方的に提示する。

○指導過程			
段階	学習活動	形態	◎指導上の留意点
導入 3分	1 本時の課題を確認する。		
	n 角形の角の和の求め方を考えよう。		
	○どうやって求める方法を考えていきますか。 ◆四角形などの具体的なものから考えていけばよいと思う。	一斉	◎「 n 角形をかくことができるか」など、抽象から考える難しさと、具体から始めると考えやすいことに気付かせる。

ここを探究的に変えたい！

AFTER：単元（内容のまとめ）の最後に解く問題を提示し、考えるべきことを整理し、見通しを持って学習に取り組む。

○指導過程			
段階	学習活動	形態	◎指導上の留意点
導入 15分	1 単元を通して解決したい問題を把握し、予想する。		
	星形五角形の角の和は何度になるでしょうか。		
	○何度になるとおもいますか。 ◆ 180° ◆ 360° ◆ 90° など ○どうやって求められそうですか。 ◆（切って）角を集める。 ◆計算する。	一斉	◎直感で答えてよいことを伝える。 ◎小学校で三角形の内角の和を学習したときの求め方を想起させる。
	2 見通しを持つ。 ○求めるためにどんなことが知りたいですか。 ノートに書き出しましょう。 ◆三角形や五角形の角の和。 ◆外側の角。 ◆どうやって角を移動させられるか。 →同じ角度になるのはどんなときか。 ○まとめましょう。	個別 ↓ 一斉	◎どんな図形に分けることができるか、三角形の内角の和を確認するときにはどのようにしたかなどを考えさせる。 ◎机間指導を行い、意図的指名の順番を決めておく。
	3 星形五角形の角の和を求めるために学ぶ必要があることを整理する。		
	・多角形の角の和の求め方。 ・多角形の外側の角について。 ・角が等しくなる場合について。		
	○～さん、発表をお願いします。（3人） ○この単元ではこれらのことを考え、星形五角形の角の和の求め方を考えていきましょう。	一斉	◎上記の内容に沿って、生徒の言葉でまとめる。
展開 33分	4 本時の課題を確認する。		
	n 角形の角の和の求め方を考えよう。		
	○どうやって求める方法を考えていきますか。 ◆四角形などの具体的なものから考えていけばよいと思う。	一斉	◎「 n 角形をかくことができるか」など、抽象から考える難しさと、具体から始めると考えやすいことに気付かせる。